



Wonder chef



取扱説明書

家庭用両手圧力鍋5.5L

品番：AQDA55S

ご使用になる前に必ずお読みになり、
読んだ後は必ず保管してください。

espresso
エスプレッソスリッタ
slitta



この圧力鍋の作動圧力は140kPaの、超高压・高压タイプです。
調理の際、加圧時間にご注意ください。

- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書の諸事項を守らないで万一事故が発生した場合は、使用者の責任となりますのでご了承ください。
- 保証書は22ページにございます。「お買い上げ日・販売店名」を販売店に記入していただけてください。記入が無い場合はシートと共に大切に保管してください。
- 別途付属の取扱説明書、注意書きがある場合はそちらも必ずお読みいただき、大切に保管してください。
- 鍋内面のフッ素樹脂はご使用の状況やご使用期間によって、剥がれる場合がございます。フッ素樹脂の剥がれによる修理、交換はお受け致しかねますのであらかじめご了承ください。

<基準認証品>

製品安全協会

JPCG 圧力なべ協議会



このマークは、製品安全協会が、製品安全を図るために定めた基準に合格したことを証明する表示です。万一製品の欠陥により、人身事故が発生した場合、協会が損害を賠償します。[消費生活用製品安全法]に基づく特定製品として認証されている製品に貼られます。

| | |
|------------------------|-------|
| 各部の名称 | 3 |
| 安全上のご注意 | 4~7 |
| 圧力鍋の使い方 | |
| ステップ1ご使用前に毎回チェック | 8 |
| ステップ2フタを閉める | 9~10 |
| ステップ3フタを開く | 11 |
| ステップ4調理の流れ | 12~13 |
| ステップ5調理後のお手入れ | 14 |
| ちょっと高度な使い方 | 15 |
| 調理時間早見表 | 16 |
| トラブルと対策 | 17~19 |
| アフターサービスについて | 20 |
| インターネット・モバイルページ | 21 |
| 保証書について | 22~23 |

各部の名称



- * 部品を破損、紛失された時は、このページのパーツ名と、お持ちの商品の品番を確認の上、P20の【お客様相談室】へお問い合わせください。
- * 別の製品の部品の流用は危険ですのでご注意ください。
- * これらは標準付属品です。モデルによってセット内容が異なります。
- * 品質向上の為、商品仕様を予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- * 別途付属の取扱説明書、注意書きがある場合はそちらも必ずお読みいただき、大切に保管してください。

安全上のご注意 必ずお守り下さい

圧力鍋は加熱して使用する調理器具です。使用中は内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤るとお使いになる人や他人への火傷等の傷害、財産への損害が生じる危険があります。それらを未然に防止するために、必ずお守り頂くことを次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または、物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

お守り頂く内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



禁止

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



強制

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告



圧力鍋は、各メーカー、各製品によって、仕様及び使用方法が全く異なります。この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。



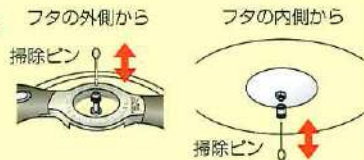
ご使用前には各部に異常がないことを確認してください。また、P8の手順に従って毎回点検を行ってください。



各部のネジ、ナットに緩みがある場合は、必ず追い締めをしてから使用してください。取っ手などの緩みは本体落下の原因になります。また、ノズル、安全弁、フロートの緩みは、部品が加圧中に外れて飛び出し、怪我の原因となります。



使用する前に圧力調整装置のノズル及びフィルターが詰まっていないことを確認してください。調理中、鍋が爆発し、怪我をする原因となります。詰まっている場合は、付属の掃除ピンでノズル及びフィルターの掃除をしてください。



各部に異常が生じた場合は、直ちにご使用を止めてください。P17~P19の【トラブルと対策】をお読みいただき適切な対処を行ってください。



フタの開閉はP9からP11の手順に従って行ってください。きちんとフタが閉まっていない状態で加熱をすると、安全装置が正常に働かず、爆発や事故の原因になります。



調理する際は、水・食材を合わせて、鍋の容量の2/3以下の量で使用してください。豆類・麺類等の、調理中に膨張するものは、水・食材を合わせて、鍋の容量の1/3以下の量で使用してください。この量を超えて調理を行うと、食材がノズルに詰まり、鍋が爆発し、怪我をする原因となります。



フロートが上がっている状態で無理にフタを開けないでください。



鍋の中に圧力が残っているときに、無理にフタを開けようとししないでください。火を止めた後も圧力鍋の中には圧力が残っています。この状態で無理にフタを開けると、フタが飛んだり高温の内容物が噴出して火傷を負う可能性があり、非常に危険です。フタを開ける際は、P11の手順に従い、おもりを傾けて蒸気を完全に排出し、必ず圧力が下がったことを確認した上で、おもりを外してからフタを開けてください。



ご使用後はP14の手順に従ってお手入れを行ってください。日々のお手入れが、万が一の故障による怪我の原因を少なくし、商品を長持ちさせます。



警告



加熱中は鍋に衝撃を与えないでください。また、火を止めた後も、鍋が熱いうちは揺らしたり衝撃を与えたりしないでください。内部の状態が急激に変化し、内容物や蒸気が噴出し、爆発や故障の原因となります。



重曹、タンサン、ふくらし粉、多量の酒、多量の油は使用しないでください。内容物の急激な変化により、ノズルが詰まり、爆発や故障の原因となったり、発火の原因となります。



カレー・シチュー等、**粘性の高いルー**を使用する料理は、**加圧を行わないでください**。ルーを入れた状態で加圧すると、ルーがノズルに詰まり爆発や故障の原因となります。ルーは加圧後に入れ、普通の鍋フタを使って調理してください。



天ぷらや揚げ物など、**油を大量に使用する料理**には使用しないでください。火災や爆発、火傷の原因となります。



不安定な場所や屋外で使用しないでください。鍋の転倒、落下などによる爆発で、怪我をする原因となります。



空焚きや過剰な火力での加熱は行わないでください。火災の原因となります。また、パッキン・取っ手・鍋本体の破損、変形、塗膜の劣化の原因となります。
 ※空焚きとは、鍋内部の水分が無くなった状態での加熱の事です。



鍋底が著しく変形した鍋は使用しないでください。使用中に鍋が転倒する恐れがあり危険です。



指定位置までフタを閉めた状態以外で火にかけないでください。スライド部分が熱で変形し、安全装置が正常に動かず、怪我、故障の原因となります。

指定位置までフタを閉めた状態



フタ取っ手と本体取っ手の位置が揃うまで、しっかりフタを閉める。

スライドボタンを引く

③この状態以外では火にかけないでください。

フタが開まっている状態



紙やアルミホイル等の薄手の素材で落とし蓋をされると、フタの裏に貼りついて、安全装置が正常に動かなくなる恐れがあり危険です。落とし蓋をされる場合は付属の蒸しすをご使用ください。



他の人に鍋を貸し出す場合は、必ずこの取扱説明書と付属部品を添えてお渡しください。

⚠ 注意



付属のおもり、パッキンを使用してください。
 他商品のものを使用すると異常動作を起こし、怪我の原因となります。
 紛失、劣化などでご購入の際は、P20の【お客様相談室】までご連絡ください。



ガスコンロを使用する場合は、**炎が鍋底からはみ出さない**よう、火力を調整して使用してください。
 鍋がコンロの中心からずれていたり、火力が強すぎると、取っ手が熱くなり劣化、変形の原因になります。



火力は鍋底からはみ出さない



火力が強すぎます



200V IHクッキングヒーターでご使用の場合、**約1分程度中火で予熱した後、強火**にしてください。
 IHクッキングヒーターを最初から強火で使用すると、鍋底が急激に熱くなるため、焦げ付きや底面の変形、底面剥離、塗膜の劣化の原因となります。



フタを開ける際は、まっすぐ上に持ち上げてください。
 斜めに持ち上げるとフタが本体に引っかかり、鍋が傾いて内容物がこぼれ、火傷をする恐れがあります。



取っ手の部分が熱くなる場合があります。
 必要に応じてミトン、鍋つかみ等を使用してください。



鍋はご使用前に洗ってください。
 使い始めたばかりの鍋は樹脂のにおいがする場合があります。



注意



使用中や使用後に、鍋の金属部分に手を触れないでください。
火傷の原因になります。



食器洗浄機は使用しないでください。
洗剤の中にはアルカリ性のものがあり、鍋を傷める原因となります。
また、食器洗浄機の熱風によっても鍋が傷むことがあります。



鍋の中に食物を保存しないでください。
汚れ・サビや、鍋が傷む原因となります。
使用後は調理物を別の容器に移し、すぐに鍋を洗浄してください。



子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届く所で使用しないでください。
火傷、怪我の原因となります。



圧力がかかっていない状態であっても、鍋が熱いうちは、鍋を揺らしたり、急にかき回したりしないでください。内容物の状態が急激に変化することで**突沸**が発生し、火傷や怪我を負う原因となります。

鍋内部のフッ素樹脂皮膜の剥がれや傷付を防ぐために



金属製の調理器具(お玉、フライ返しなど)は
使用しないでください。



スプーンや食器類を入れないでください。



鍋で直接、洗米しないでください。



鍋のお手入れは、柔らかいスポンジで洗って
ください。



鍋に固いものを当てたり、たたいたり
しないでください。



磨き粉、金属たわし、ナイロンたわしで
洗ったりこすったりしないでください。



おもりやノズルフィルターを鍋に入れたり
しないでください。



台所用合成洗剤以外のシンナー、漂白剤、
クレンザー、化学ぞうきんなどは使用
しないでください。



鍋を洗いおけ代わりに使用しないでくだ
さい。



付属の蒸しすを使用してください。

突沸について

加熱した液体が沸点(水:100℃)を超えても沸騰しない状態(過加熱状態)で、振動などの衝撃で突然、
激しく沸騰する現象をいいます。 <独立行政法人 製品評価技術基盤機構のHPより抜粋>

激しい突沸が起こると内容物が噴出して周囲に飛散し、その勢いで鍋が大きく動くことがあり大変危険です。

IHクッキングヒーターやガスコンロで食品を再加熱するときは火力を弱めにし、ゆっくりよくかき
混ぜながら温めてください。強火で急加熱すると突沸の原因となり、火傷をする恐れがあります。
3kw以上のIHクッキングヒーターをご使用の場合は、中火以下でご使用ください。

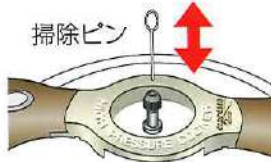
ご使用前に毎回チェック

1. ノズルのチェック

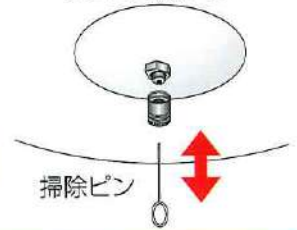
掃除ピンを、ノズル及びノズルフィルターの穴に差し込み、詰まりが無いかを確認してください。

ノズルが目詰まりしていると、圧力調整装置（おもり）が正常に作動せず、爆発する恐れがあります。

フタの外側から



ノズルフィルター
フタの内側から

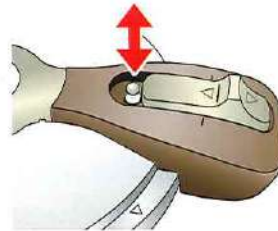


2. フロート式安全装置をチェック

スライドボタンを手前に引き、フタの裏側にあるフロート式安全装置を下から指で軽く押し上げた後指を離し、スムーズに上下するか確認してください。

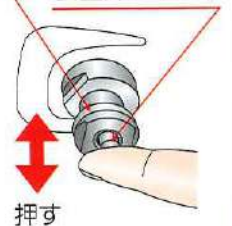
また、安全弁シャフトを指で押し、内部のバネによって押し戻されるか確認してください。確認した後は、スライドボタンをフタの中央側に押してください。

スムーズに上下に動きますか？



フロートのオーリング

安全弁シャフト



フロートのオーリングが正しく取り付けられていることを確認してください。フロートのオーリングの位置がずれていたり、破損・劣化すると、フロート式安全装置の隙間から蒸気が漏れ、圧力が上がりません。その様な場合、P20の弊社【お客様相談室】までお問い合わせください。



警告

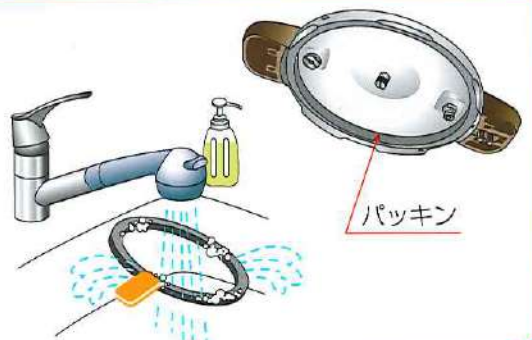
おもり、パッキン、ノズル、フロート式安全装置、第二安全弁、スライド、本体・フタ取っ手に、変形、破損、分解、割れ等の異常が発生した場合は、直ちに使用を止め、P20の弊社【お客様相談室】までお問い合わせください。そのままご使用を続けると加圧中に部品が破損し、高温の内容物や蒸気が噴き出し火傷や怪我の原因となることがあります。

3. パッキンをチェック

清潔なものが正しくセットされていますか？

パッキンに傷、ヒビ、割れが発生したり、弾力性が無くなったら使用を止め、交換してください。そのまま使用を続けると、パッキンが切れて、内容物が飛散したり、火傷や怪我の原因となります。

*パッキン等のゴム製の部品は消耗品です。使用頻度やお手入れの状態にもよりますが、弊社では一年に一回は、新しいパッキンに交換されることをお勧めしております。



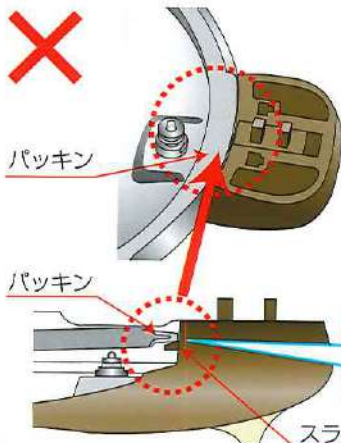
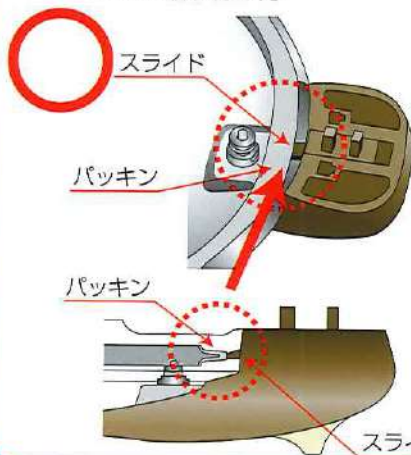
フタを閉める

1. パッキンを取り付ける

パッキンは図のように、スライドがパッキンをフタの内側に向かって押すかたちになるように取り付けてください。パッキンがパッキンストッパーの内側に入っていることを確認してください。（誤った取り付け方をすると、フタが閉まりません。また、無理に閉めようとすると、フタが開かなくなったり、パッキンが切れることがあります。）

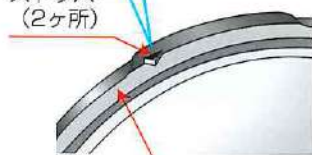
正しい取り付け方

誤った取り付け方



*パッキンはストッパーの下側にはめてください。

ストッパー (2ヶ所)



パッキン

*スライドの上にパッキンが乗った状態では、フタが閉まりません。



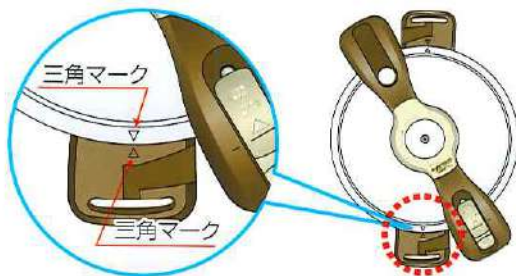
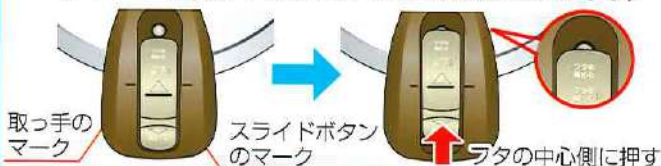
注意

圧力鍋を複数お持ちのお客様は、別の商品のパッキンを取り付けて、ご使用にならないようご注意ください。
 蒸気漏れ、安全装置の作動不良、商品の故障の原因となります。

2. フタをセットする

スライドボタンを鍋の中央側に向かって、止まる場所までしっかり押してください。スライドボタンのマークと取っ手のマークが横一線になっているのが正常にスライドボタンが押されている状態です。（フロートの頭が半分ほどかくれた状態になります。）

フタの上の三角マークと、本体取っ手の三角マークを合わせて、本体の上にフタをまっすぐ置いてください。



この時、フタを傾けた状態で閉めないようご注意ください。パッキンが切れたり、フタが開かなくなることがあります。

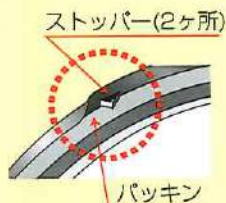
フタを閉める

再確認
 チェック!!

フタを閉める前に再確認!(P9を参照してください)

1 パッキンはP9の通り正しくついていますか?

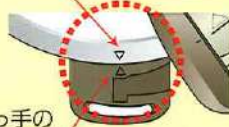
スライドが見えて
 いればOK
 スライド



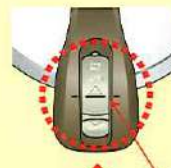
2 フタと本体取っ手の三角マークの位置は合っていますか?

フタの三角マーク

本体取っ手の
 三角マーク



3 スライドボタンの位置は合っていますか?

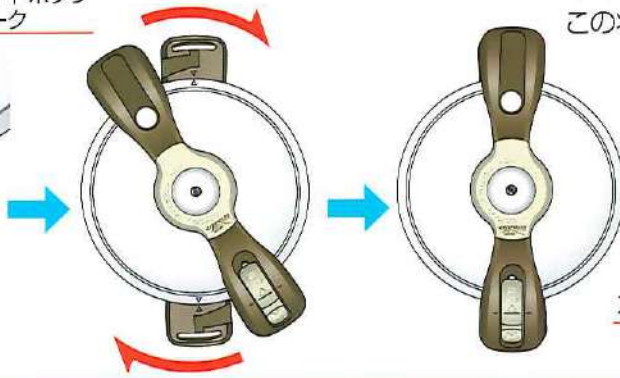


マークが横一線

3. フタを回す

スライドボタンをP9の様に鍋内側方向に止まるまで押し込みます。フタを時計回りに回転させます。本体取っ手とフタ取っ手がそろった位置まで回してフタを閉めます。

スライドボタンの
 マーク



スライドボタンを手前に止まるまでしっかりと引き、フロートの頭が全て見える状態にしてください。

この状態でフタがロックされます。



注意

フタが閉まりにくい場合は一旦フタを本体から離し、最初からやり直してください。無理にフタを閉めるとパッキンが破損したり、フタが開かなくなることがあります。

4. おもりを取り付ける

おもりを取り付けてください。おもりをノズルの上にかぶせ、時計回りに回してねじ込みます。正常に取り付けられれば、ストンと落ちます。おもりを指で押して、ユラユラ動く状態が正常です。

1



おもりを垂直に

2



時計回りに回す

3



ユラユラ揺れて正常

フタを開く

1. 圧力が下がったことを確認

フロート式安全装置が下がっていることを確認してください。



警告

フロート式安全装置が上がっている状態で無理にフタを開けようとししないでください。フタが飛んだり、高温の内容物が噴出して、火傷を負う可能性があり、非常に危険です。

2. 残った蒸気を抜く

おもりを少し傾けて、残った蒸気を完全に排出してください。(おもりを傾けたときにプシューと勢い良く蒸気が出続ける場合は、鍋の中に圧力が残っています。おもりを元に戻し、しばらく放置してからもう一度おもりを傾けてください。)



3. おもりを外す

おもりを垂直に持ち上げ、そのまま反時計回りに回転させ、おもりを外してください。



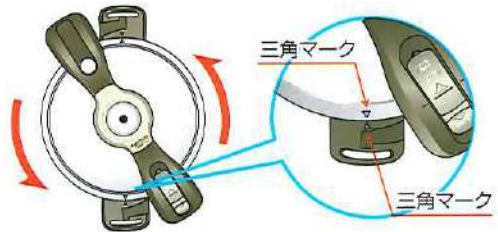
4. フタのロックを解除

スライドボタンを鍋の中央側に向かって止まるまでしっかり押してください。スライドボタンのマークと取っ手のマークが横一線になるまで押し込むとロックが解除されます。



5. フタを回す

フタを反時計回りにゆっくりと回転させてください。まず、取っ手をわずかにずらした後、一旦止め、フタの隙間から蒸気が漏れてこないことを確認した上で、本体取っ手とフタの三角マークが合う位置までフタを回転させてください。

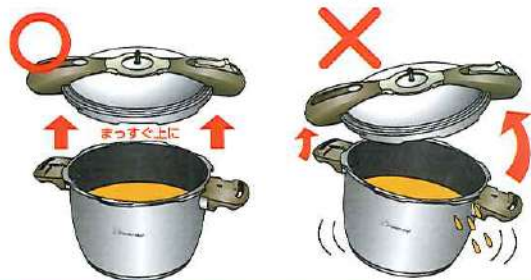


警告

フタの回転が普段より重く感じられる場合は、鍋の中に圧力が残っている可能性があります。無理に開けずに、もう一度おもりを取り付け、P15の急冷の手順に従って水で冷やして圧力を下げた後、このページの手順に従って、もう一度フタを開けてください。

6. フタを持ち上げる

フタをまっすぐ持ち上げ、フタを開けてください。(フタを開ける際に立ち上る蒸気で、火傷をしないようご注意ください。)



警告

鍋の中に圧力が残っているときに、無理にフタを開けようとししないでください。火を止めた後も圧力鍋の中には圧力が残っています。この状態で無理にフタを開けると、フタが飛んだり高温の内容物が噴出して、火傷を負う可能性があり、非常に危険です。フタを開ける際は、このページの手順に従って必ず圧力が下がったことを確認した上で、おもりを外してからフタを開けてください。



注意

フタを斜めに持ち上げると、フタの端が本体に引っかかり、鍋が傾いて火傷をする恐れがあります。フタを開ける際は、まっすぐ上に持ち上げてください。

調理の流れ

初めての調理の前には、水だけを3cm程入れ加熱し、圧力鍋の動作を確認されることをお勧めします。

圧力鍋の調理の流れは、下記の説明図のように大きく4つに分けることができます。ここでは、「かたゆで卵」を作る場合を例にとって、基本的な調理の流れを説明します。実際の調理は付属のレシピ等に沿って行ってください。

基本的な調理の流れ



1. 準備

P8の【ご使用前に毎回チェック】をご確認頂いた上で、圧力鍋と材料を用意してください。

2. 具材と水を入れる

鍋の中に卵(具材)を入れます。
 鍋の中に水を入れます。
 「かたゆで卵」の場合は鍋の中の「豆類最大量」の線まで水を注いでください。



3. フタを閉める

P9の【フタを閉める】の手順に従ってフタを閉めてください。

4. 火にかける

圧力鍋をコンロにのせ、鍋底からはみ出さない程度の中火～強火で加熱してください。IHクッキングヒーターをご使用の場合は、“中”で1分程度予熱した後、鍋が温まったら“強”にしてください。火力が強すぎると、取っ手の焼け焦げや、鍋底の変形、塗膜の劣化の原因となります。3kw以上のIHクッキングヒーターをご使用の場合は、中火以下でご使用ください。

コンロの場合



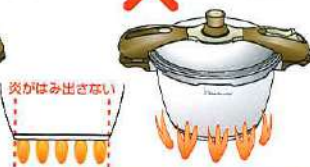
IHクッキングヒーターの場合



○ 火力は鍋底からはみ出さない



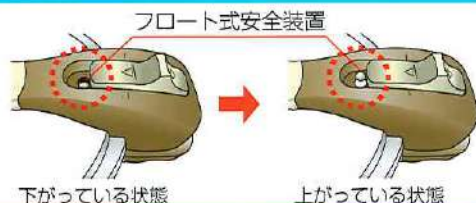
✗ 火力が強すぎます



圧力鍋の使い方

5. 圧力が上がり始める

点火から※2分～10分程度で、フロート式安全装置が上がります。
 (この時点では、まだ調理圧に達していません。)



6. 圧力調理開始

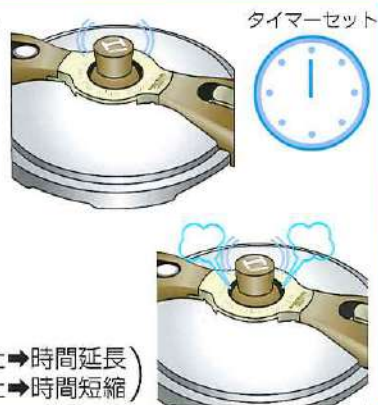
フロートが上がってから※5分～10分程度で、おもりが揺れ始めます。これが調理の圧力に達したしるしです。

おもりが揺れ始めたら、おもりが小さく揺れるように火力を調整してください。

レシピに指定がある場合は、ここからタイマーをセットし、所定の時間が経過するまで加熱を続けます。
 (この時間を「調理時間」と呼びます)

「かたゆで卵」の場合は、加圧時間は0分ですのでおもりの揺れ具合を確認したら火を止めてください。何個でも時間は同じです。

具材の増減があっても、加圧調理時間は同じです。
 ただし具材の大きさを変えた時には時間調整してください。(大きくした→時間延長)
 (小さくした→時間短縮)



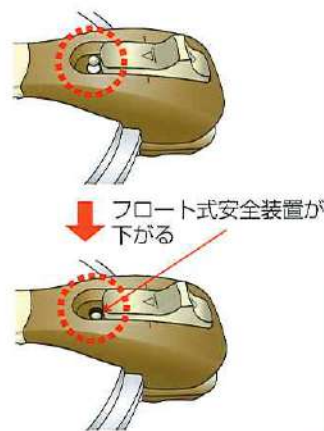
7. 蒸らし時間

火を止めてから※5分～30分程度で、フロート式安全装置が下がります。
 (このフロート式安全装置が下がるまでの時間を「蒸らし時間」と呼び、この間も鍋の中では余熱による調理が続いています。)

レシピで指示されたよりも短い時間でフロートが下がった場合、指示時間までフタを開かないでください。時間が来てもフロートが下がらない時は、フロートが下がるまで蒸らしてください。

フロート式安全装置がなかなか下がらない場合は、箸の先等でフロート式安全装置を軽くつついてください。ブシュッと音がしてフロート式安全装置が戻ってきたり、全く下がらない場合は、鍋の中に圧力が残っていますので、フロートが下がるまでしばらく放置してください。

フロート式安全装置が下がったことを確認したら、P11の【フタを開く】の手順に従ってフタを開けてください。



※説明文中の「フロートが上がるまでの時間」、「おもりが揺れるまでの時間」、「フロートが下がるまでの時間」はあくまで目安です。実際の時間は、調理内容、気温、水温、ご使用の熱源、調理物の量によって異なります。

◎本商品の作動圧は140キロパスカルです。商品に付属のレシピ以外をご使用になる場合は、調理時間を調整してください。

◎豆類、おかゆ等、泡立ちやすい料理は多少煮汁がこぼれる場合があります。



調理の流れに当てはまらない動きをした場合は、すぐに火を止め鍋をそのまま冷めるまで放置してください。冷めたらP11の手順に従ってフタを開けてください。
 故障かなとおもったら、P17～P19の【トラブルと対策】をお読み頂き、適切な対処を行ってください。さらにご不明な場合は、P20の【お客様相談室】まで、お問い合わせください。

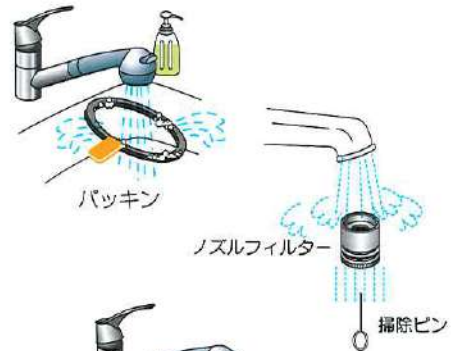
調理後のお手入れ

1 調理後は、鍋の中に料理を保存せず、速やかに皿などに移し替えてください。鍋がサビたり変色することがあります。



2 鍋とフタ、おもり、パッキン、フィルターを外し、柔らかいスポンジに中性洗剤をつけ、十分にすすぎ水分を拭き取り、よく乾燥させてください。

- 鍋の内面を洗う際は研磨剤入りのスポンジや金属たわし、クレンザー等は使用しないでください。塗膜が劣化する原因となります。
- パッキンは、調理カスや表面のヌメリが残らないように毎回ご使用後に中性洗剤で洗浄してください。
- パッキンを洗浄、乾燥される際は、包丁等で傷つけないようご注意ください。
- ノズル・ノズルフィルターは毎回ご使用後に洗浄してください。調理カス等が詰まっていたら、付属の掃除ピンで取り除いてください。ノズルフィルターは手で回して外すことができます。
- フロート式安全装置は、お湯を流しながら上下に動かして、内部に溜まった汚れを洗い流してください。
- フロート式安全装置の安全弁シャフト、第二安全弁は洗浄後お湯を流して汚れを取り除いてください。



スチームカバーは反時計回りに回すと、取り外すことができます。汚れてきたら取り外して洗浄してください。



禁止

食器洗浄機は使用しないでください。洗剤の中にはアルカリ性のものがあり、鍋を傷める原因となります。また、食器洗浄機の熱風によっても鍋が傷むことがあります。



取り付け時は逆に回して取り付けてください。

3 片づけの際は、フタを逆さにして、本体の上にかぶせ空気が通るようにした方がニオイがこもりません。



4 鍋の内部が焦げてしまった場合

鍋の中の水分が極端に少なくなると、鍋が焦げ付きます。水分が少なくなる原因は、
①フロートが上がるまでの火力が弱い。
②おもりが動き出してから火力が強い。の二点です。

焦げ付いてしまった場合は、焦げた中味を取り出し、鍋に焦げが浸かる程度水を入れ、そこにクエン酸(小さじ1)を入れ、**圧力鍋のフタをせず**に10分程度煮立てます。

割り箸など、木製の棒などで焦げをこすってみてください。取れるようなら焦げを取り、きれいに洗ってください。取れないようなら一度水を捨て、最初から繰り返してください。



圧力鍋の使い方

ちょっと高度な使い方

蒸し料理



蒸し料理をする場合、鍋に1ℓ程度水を張り、鍋の中に蒸しすを置き、その上に蒸し物を置いてください。
 その時、食材の高さが鍋のフチより高くないように注意してください。
 ※蒸し料理はレシピにそってご使用ください。

豆料理 麺類の調理

豆は大きく
 ふくらむので注意!



大豆のような皮の剥がれやすい豆を調理する際は、市販の金属製の落とし蓋をお使いいただくか、付属の蒸しすを落とし蓋代わりにしてご利用ください。豆の皮がノズルに詰まるのを防止します。

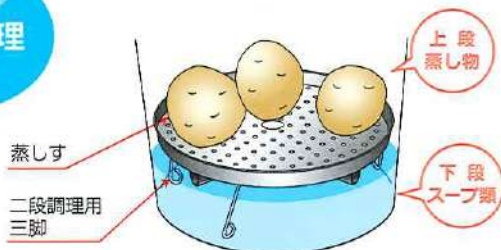
圧力鍋を
 使い慣れてきたら



警告

紙製や布製の落とし蓋は、安全装置を詰まらせて事故に繋がる可能性がありますので、加圧中は絶対に使用しないでください。

二段調理



二段調理は、調理時間が同じ別々の料理を、鍋の上と下で同時に作ることが出来ます。蒸しすと二段調理用三脚を使って、鍋の下段でスープ等の水分の多い調理を行い、鍋の上段で蒸し物を作るのが一般的な方法です。圧力鍋の使い方に慣れてきたら、是非お試しください。

やむを得ず、急いでフタを開ける場合

急冷

鍋を慎重にシンクに置き、フタの上にふきんをのせ、その上から水をかけてください。しばらくしますとフロートが下がりますので、その後おもりを外し、P11の【フタを開く】に従って、フタを開けてください。
 急冷の際は、鍋を水の中に直接つけないでください。鍋底の変形、剥離、塗膜の劣化の原因となります。
 いったんフロートが下がりましたが、鍋を揺らしたり、動かしたりした場合は再沸騰し、鍋内部に圧力がかかり、フロートが上がります。その時はフタを開けずにしばらく放置し、圧力が下がったことを確認してから、P11の【フタを開く】の手順に従って再度フタを開けてください。

急減圧

(急減圧をすると煮物が煮くずれることがあります。)
 おもりを少し持ち上げ、おもりの頭部を手前に傾けて、フロートが下がるまで蒸気を抜いてください。フロートが下がった後の手順は急冷と同様です。安全に十分注意してフタを開けてください。



調理時間早見表

- よく使われる材料を調理するのに必要な水分量、調理時間、蒸らし時間を表にしました。
- Wonder chef 魔法のクイック料理 5.5ℓ (140キロパスカル) を使い、水の分量には調味料を含みます。
- 熱源の種類や火力の強さ、材料の大きさ、取り合わせによって調理時間が多少変わりますので、

この表はひとつの目安としてお使いください。

- 調理時間：おもりが動き始めてから火を消すまでの時間です。

詳しくは、P12の【調理の流れ】をご確認ください。

調理単位
 カップ…1カップ200ml
 大さじ…15ml
 小さじ…5ml

| | 材 料 | 分 量 | 大 き さ ・ 形 | 水 分 量 | 調 理 法 | 調 理 時 間 | 備 考 |
|----|---------|-------------|-----------------|--------------|-------|-----------------|-----------------------|
| 肉 | 豚 も も 肉 | 600g | 300gかたまり2つ | 400ml | 茹でる | 5分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | 豚 バ ラ 肉 | 600g | 4cm角 | 650ml | 茹でる | 8分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | スベアリブ | 700g | 食べやすい大きさ | ひたひたの量 | 茹でる | 6分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | 鶏 む ね 肉 | 300g | かたまり | 200ml 蒸し用 | 蒸す | 1分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | 牛 す じ 肉 | 400g | 食べやすい大きさ | 300ml | 茹でる | 5分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | 鶏手羽元肉 | 12本 | — | 350ml | 茹でる | 1分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | 鶏 レ パ ー | 400g | 食べやすい大きさ | 200ml | 茹でる | 0分 | 5分蒸らしたら蒸気を抜く |
| 魚 | さ ん ま | 4尾 | うろこ、頭、腹を取って半分に | 400ml | 茹でる | 10分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | 真 い わ し | 6尾 | うろこ、頭、腹を取って4等分に | 200ml | 茹でる | 8分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | あ じ | 5尾 | 頭、腹、せいごを除く | 350ml | 茹でる | 6分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | た こ | 500g | 大きい乱切り | 350ml | 茹でる | 1分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | え び | 有頭えび 10尾 | 背わたを除く | 200ml 蒸し用 | 蒸す | 0分 | 5分蒸らしたら蒸気を抜く |
| | あ さ り | 300g | 塩抜きしておく | 80ml | 茹でる | 0分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| 豆 | 大 豆 | 200g | — | 800ml | 茹でる | 1分 | 下茹で前、フタをかけて熱湯に浸け2時間おく |
| | 黒 豆 | 200g | — | 700ml | 茹でる | 下茹で1分 仕上げ1分 | 下茹で前、フタをかけて熱湯に浸け2時間おく |
| | あ ず き | 200g | — | 600ml | 茹でる | 下茹で5分 仕上げ3分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | 白 花 豆 | 200g | — | 800ml | 茹でる | 下茹で4分 仕上げ30秒 | 下茹で前、フタをかけて熱湯に浸け1時間おく |
| 野菜 | か ぼ ち や | 400g | 4cm角 | 300ml | 茹でる | 30秒 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | 白 菜 | 600g | 3cm角 | 150ml | 茹でる | 30秒 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | キャベツ | 500g | 短冊切り | 130ml | 茹でる | 0分 | 2分蒸らしたら蒸気を抜く |
| | に ん じ ん | 500g | 2cm厚輪切り | かぶるくらいの水加減 | 茹でる | 1分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | 大 根 | 1/2本 | 3cm輪切り6枚 | ひたひたの量 | 茹でる | 5分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| いも | さつまいも | 500g | 2cm厚輪切り | 350ml | 茹でる | 20秒 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | じゃがいも | 100g 5個 | 1個を半分に切る | 300ml | 茹でる | 1分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| | じゃがいも | 100g 5個 | 1個をそのまま | 300ml | 蒸す | 10分 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |
| 海藻 | ひじき(乾燥) | 50g | 水に浸けて戻す | 200ml | 茹でる | 30秒 | フロートがおりるまで自然放置で蒸らす |

トラブルと対策

こんなときは
 ???

P12の【調理の流れ】にあてはまらない動きをした場合は、直ぐに火を止め、使用を中止し、本ページの不具合内容とその対策をお読みになって、適切な対処を行ってください。

ご不明な場合は、P20の【お客様相談室】までご連絡ください。

| 不 具 合 | 現 象 | 対 策 |
|-----------------|---------------------------------|--|
| フタが開まらない | パッキンがスライドの上にかぶさっていませんか？ | P9の手順に従って正しくパッキンを取り付けてください。 |
| | スライドボタンが調理する側に引かれていませんか？ | スライドボタンをフタの中央側に押してください。 |
| | 本体取っ手とフタの三角マークの位置を合わせてから開めましたか？ | P9の手順に従って、三角マークの位置を合わせてからフタを開めてください。 |
| | 鍋を真横から見たとき、フタが斜めになっていませんか？ | フタを斜めにはめあわせた場合は、フタが開まなくなることがあります。その場合はもう一度フタをかぶせ直してください。外れなくなった場合は修理が必要です。【お客様相談室】までご相談ください。 |
| フタが開かない | スライドボタンが調理する側に引かれていませんか？ | スライドボタンをフタの中央側に押してください。 |
| | 鍋を真横から見たとき、フタが斜めになっていませんか？ | フタを斜めにはめ合わせた場合、フタが開かなくなることがあります。その場合は修理が必要です。【お客様相談室】までお問い合わせください。 |
| スライドボタンが押せない | フロートが上がっていませんか？ | フロートが下がるまで待ってください。フロートが下がったら、P11の手順に従ってフタを開けてください。 |
| フロートが上がらない | スライドボタンがフタの中央側に押されていませんか？ | スライドボタンを調理する側にしっかりと引いてください。 |
| | フロートの中や周辺に調理カスが詰まっていますか？ | P14の手順に従ってフロートを掃除してください。 P8の手順に従ってフロートが上下にスムーズに動くことを確認してください。 |
| | どこかから蒸気が漏れていませんか？ | P18の「蒸気が漏れる／水滴が落ちる」をご確認ください。 |
| | 火力が弱すぎませんか？ | 鍋底から炎がみ出さない程度に火力を強くしてください。 |
| フロートが下がらない | フロートの中や周辺に調理カスが詰まっていますか？ | P11の手順に従ってフタを開けた後、P14の手順に従ってフロートの掃除を行ってください。 粘性の高い料理をしていると、フロートがフタに密着し、下がりにくくなる場合があります。箸の先等で軽くつついてフロートが下がれば正常です。 調理物の量が多かったり、油分の量が多い調理をされている場合、フロートが落ちるまで時間がかかる場合があります。 箸でつついてもフロートが戻ってくる場合は、そのままフロートが下がるまでしばらく放置してください。 どうしても早くフタを開ける必要がある場合は、P15の急冷を行い、フロートが下がったことを確認してからフタを開けてください。 |
| フロートが落ちるのが早い | どこかから蒸気が漏れていませんか？ | P18の「蒸気が漏れる／水滴が落ちる」をご確認ください。 |
| 樹脂などのにおいがする | 使い始めたばかりではありませんか？ | ご使用とともに、においは少なくなります。 |
| 内面が変色した | | ご使用状態によっては、内面が変色したりシミが付く場合があります。製品の性能への影響はございませんので、そのままお使いください。 |
| 内面のフッ素樹脂が剥がれてきた | | フッ素樹脂はご使用の状況やご使用期間によって、剥がれる場合があります。これは調理器具の寿命です。修理、交換等はお受けすることが出来ません。【お客様相談室】までご連絡頂き、新しい本体をお買い求めください。 |

トラブルと対策

| 不 具 合 | 現 象 | 対 策 | |
|-----------------------|--|---|--|
| 蒸気が漏れる／水滴が落ちる | 取っ手から漏れる | スライドボタンが、フタの中央側に押されていませんか？ スライドボタンを"調理する"側にしっかりと引いてください。 | |
| | フタの周りから漏れる | パッキンは正しく取り付けられていますか？ | P9の手順に従って、パッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。 別の商品のパッキンが取り付けられていないか、確認してください。 |
| | | フタは正しく閉まっていますか？ | P9の手順に従って、フタを正しく閉め直してください。 |
| | | パッキンが破損・劣化していませんか？ | パッキンは消耗品です。使用頻度やお手入れの状態にもよりますが、弊社では1年程度での交換をお勧めしております。 弊社【お客様相談室】までご連絡いただき、新しいパッキンをお買い求めください。 |
| | | パッキンが濡れたまま取り付けられていますか？ | パッキンは洗浄後、よく拭いてからご使用ください。 |
| | | ノズルの周りから漏れる | ノズルが緩んでいませんか？ 緩んでいる場合はノズルフィルターを外して、六角ナットをペンチ等で締めなおしてください。 |
| | フロートから漏れる | フロートのオーリングは正しい位置についていますか？ | P8の図を参考にオーリングの位置を確認してください。 |
| | | フロートが汚れていませんか？ | P14の手順に従ってフロートを掃除してください。 P8の手順に従ってフロートが上下にスムーズに動くことを確認してください。 |
| | | フロートのオーリングが破損・劣化していませんか？ | オーリングは消耗品です。 1年程度での交換をお勧めしております。 弊社【お客様相談室】までご連絡いただき、新しいオーリングをお買い求めください。 |
| | | フロートが上がるまで蒸気が漏れ続ける | フロートが上がって密閉されるまでは隙間から蒸気が漏れます。 異常ではありませんので、そのままご使用ください。 |
| フロートが上がっても少量の蒸気が漏れ続ける | | タバコの煙程度の蒸気漏れであれば正常です。そのままご使用ください。 | |
| ノズルが目詰まりしていませんか？ | | ノズルが詰まると圧力鍋が正常に作動しなくなる為、フロート式安全装置、もしくは第二安全弁が作動することがあります。 P11の手順に従ってフタを開けた後、P8の手順に従って付属の掃除ピンでノズルとノズルフィルターを掃除してください。 | |
| 第二安全弁から漏れる | ノズル・フロート式安全装置が詰まっていますか？ P11の手順に従ってフタを開けた後、P8の手順に従って、ノズルの掃除をしてください。 また、P14の手順に従って、フロートの掃除をし、フロートがスムーズに動くことと、フロート中央のシャフトを指で押して動くことを確認してください。 | | |
| おもりが動かない | 火力が弱すぎませんか？ | おもりが軽く振れる程度まで火力を強くしてください。 | |
| | 圧力鍋の中の水分が蒸発し、空焚きになっていませんか？ | すぐに火を止め、P11の手順に従ってフタを開けてください。 | |
| | ノズルが目詰まりしていませんか？ | すぐに火を止め、P11の手順に従ってフタを開けてください。 P8の手順に従って掃除ピンを使って、フィルター、ノズルを掃除してください。 | |

トラブルと対策

| 不 具 合 | 現 象 | 対 策 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|
| おもりが取り付けられない おもりが外せない | 鍋を真横から見たとき、おもりが斜めに取り付けられていませんか？ | P10の手順に従って、おもりを水平に取り付けてください。外す際もおもりを水平にして取り外してください。おもりのネジが斜めにかかる、外せなくなる場合があります。どうしても外せない場合は【お客様相談室】までご相談ください。 |
| 取っ手がガタつく | 取っ手のネジが緩んでいませんか？ | プラスドライバーで取っ手のネジを締めなおしてください。 |
| プラスチックの焦げる 臭いがする | 火力が強すぎませんか？ | 火力が強すぎると、鍋底からはみ出した炎で取っ手が焼かれます。鍋底からはみ出さない程度の火力に調整してご使用ください。 |
| | 鍋はコンロの中央に置かれていますか？ | コンロの中央から鍋がずれていると、鍋底からはみ出した炎で取っ手が焼かれます。鍋をコンロの中央に置き、鍋底からはみ出さない程度の火力に調整してご使用ください。 |
| 白米が少し、灰色がかって見える | | 高压で食物の中の澱粉質がアルファ化した為、色が変わって見える現象です。異常ではありません。澱粉質がアルファ化することで、お米や玄米は、圧力鍋ならではのふっくらもちもちした食感になります。 |
| 料理が焦げ付く (鍋の焦げ取りに関してはP20をご参照ください。) | フロートが上がるまでの火力が弱すぎませんか？ | 点火後、鍋底からはみ出さない程度の中火～強火に調整してください。火力が弱すぎると、圧力がかかる前に鍋の中の水分がフロートの隙間から蒸発してしまいます。 |
| | 火力が強すぎませんか？ | 火力を少し弱めにし、鍋底からはみ出さない程度の火力に調整してご使用ください。また、おもりが動き出したら、おもりが軽く振れる程度に火力を調整してください。 |
| | 水分が少なすぎませんか？ | 水分を少し多めに調整してご使用ください。 |
| | どこかから蒸気が漏れていませんか？ | P18の「蒸気が漏れる」をご確認ください。 |
| 鍋底が剥がれた、変形した | 火力が強すぎませんか？ | 火力を少し弱めにし、鍋底からはみ出さない程度の火力に調整してご使用ください。 |
| | 空焚きになっていませんか？ | 水分を少し多めに調整してご使用ください。 |
| | | 鍋底が著しく変形した鍋は使用しないでください。使用中に鍋が転倒するおそれがあり、大変危険です。コンロやIHプレートの上でガタツキがある場合は使用せず、【お客様相談室】までご相談ください。鍋底が変形した場合、修理は不可能です。ご了承ください。 |
| 鍋に亀裂・凹みがある | | 使用を止め【お客様相談室】までご相談ください。 |
| 部品をなくした・破損した | | 【お客様相談室】までご相談ください。 |
| 異音がる | ゴムが貼りつくような「ピチピチ・パチン」といった音がする | 内圧が上がるときにパッキンが膨張する音です。異常ではありませんのでそのままお使いください。 |
| | 「ピー」という笛のような音がする | 鍋が密閉されるときに、一時的に「ピー」という笛のような音が出る場合がありますが異常ではありません。そのままお使いください。音が鳴りやまない場合は使用を止め【お客様相談室】までご相談ください。 |



<http://www.wonderchef.jp/>

インターネットホームページでは、200種類以上のレシピを写真入りで見ることが出来ます。印刷して自分だけのレシピブックを作る事も出来ます。検索用ホームページから、「ワンダーシェフ」で検索して頂いてもご覧になることが出来ます。

ホームページの内容

- ワンダーシェフについて
- レシピ検索
- 商品紹介
- お問い合わせ
- Q & Aページ

圧力鍋レシピ集
200種類以上の
 レシピを掲載しています!

和食

あんかけ茶碗蒸し
 五目炊き込みご飯

洋食

シーフードと野菜ドレッシング
 牛肉のイタリア風煮込み

中華

スペアリブのケチャップ煮
 回鍋肉(ホイコーロー)

多国籍

コムタンスープ
 冷麺

お菓子 デザート

カスタードプリン
 タビオカのココナッツミルク

下ごしらえ ソース

豆
 基本のトマトソースなど



<http://www.wonderchef.jp/m/>

モバイルページでは、200種類以上のレシピをいつでもどこでも見ることが出来ます。お買物中に材料からメニューを選んだり、キッチンで携帯電話を片手にお料理出来たりと大変便利です。

※上記アドレスを携帯電話に入力して下さるか、2次元コードから入力してください。入力方法は携帯電話の説明書をご覧ください。

モバイルページで出来ること

- キーワードからのレシピ検索
- 料理のカテゴリからの検索
- 材料・調理法からの検索
- カロリーからの検索
- ユーザー登録
- お問い合わせ



インターネット・モバイルページでユーザー登録を受け付けています!

ユーザー登録をしていただきますと、毎月2回「季節のレシピ」を含むメールをお届けいたします。また、ユーザー専用のインターネットホームページでは、おもり・パッキン等の部品のご注文ページや、ユーザー同士がコミュニケーションを持てる「掲示板」もご用意いたしております。ご購入10年無料点検のご案内もさしあげます。





家庭用両手圧力鍋5.5L

espresso
エスプレッソスリッタ
slitta

品番：AQDA55S

掃除ピン

お客様相談室

圧力なべ協議会 会員
株式会社ワンダーシェフ

〒561-0825 大阪府豊中市二葉町1丁目19-19
☎(06)6334-4349 FAX(06)6334-4343
受付時間/午前 9:00~正午 12:00
午後 1:00~午後 5:00
(土、日、祝祭日、年末年始、盆休みを除く)
アフターフォローは日本国内に限ります。
<http://www.wonderchef.jp/>
web@wonderchef.jp

(この取扱説明書は2014年現在のものです。品質向上の為、商品仕様を予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。)